



フェリス女学院大学同窓会会報



緑園キャンパスチャペル
正面ステンドグラス

ゆきなれた路の
なつかしくて
耐えられぬよう
わたしの祈りのみちを
つくりたい

二〇〇三年一月、緑園キャンパスチャペル正面に設置されたステンドグラスは、フェリス女学院短期大学家政科一九六六年卒業生、大村典子さんの作品です。

このステンドグラスは「祈りの道」と題され、詩人・八木重吉氏の詩、「祈」よりイメージしてデザインされた。

薄板色ガラス十五種類をカットして三層に重ね、八三〇度で溶着させた後、色ガラスのパウダーをかけてニュアンスが出るまで何度も焼成する。そうして出来あがった厚さ約五畳の色板ガラス二八枚を四枚ずつ真鍮銅と鉛線でつなぎ合わせて一枚のハネルとし、中央聖壇窓に二十四枚、上部の左右窓に八枚はめ込んである。

《聖句》

「神のなされることは
皆その時にかなって美しい。」
伝道の書三章十一節

聖句エッセイ

「神の家族」

戦争、テロ、地震、サーズ、不況、今、この世は混迷の一途をたどり、一寸先が見えません。

皆さんは何を心のよりどころにして日々の生活を過ごしていらっしゃいますか。

物やお金、快樂ですか、それとも自分の能力、地位、健康ですか。この世で私たちが一番大切に思っているこれらのものは一瞬の内に失われてしまうのです。

私も十年前はこのような事に気づかず日々の生活に追われていました。そんな時、一人のクリスチヤンに出会い、教会に通うようになりました。二年後、主の深い愛の導きにより洗礼を受けました。丁度人生の折り返し点の五十歳の時でした。フェリス在学中に主が私の心の内にまいてくださった一粒のからし種が大きく育まれ実りの時を迎えたのです。「神のなされることは皆その時にかなって美しい。」大地はきらきらと輝き何を見ても感動と感謝の涙で溢れました。この世のものからは決して得ることの出来ない永遠の尽きることのない喜びと心の平安が与えられたのです。

フェリスで主の御教えに浴した私たちは皆、神の家族の一員です。皆、神に覚えられ、愛されているのです。

今年五月、大学の三つの同窓会(Fグループ・りべるて・りてら)が合同で総会を開催しました。神の家族が支え合いながら一つの大学同窓会にむけて船出をしました。主の祝福がありますように。

りてら 佐々木 陽子 (62E)

「大学の同窓会」の 発足を感謝して

理事長 中島 省吾



これまで、それまでの歴史的事情から各自
に別の組織として歩んできた三つの同窓会が一
緒になって、「大学同窓会の総会を開きました。
その「会報」第一号を発行された。エリス女学院の歴史に特筆され、永く記憶
されるべき出来事であつて、まことに御同窓の至りである。上よりの御導きを感謝す
る。関係者各位の労を多としたい。

「一一〇年小史」の年表によれば、一八八七(明治二〇)年の学則改正において、六歳
から十六歳までの予科・本科に加えて、十
六歳から十八歳までの二年間の教育のため
の高等科が設置された。

M・キダー女史の塾が生まれて十七年後、
エリス・セミナリー発足(一八七五年)から
僅かに十二年後である。

よってその後の拡充は制約され、また、大学と短期大学との併設は高等教育の充実とともにさまざまな困難をもたらした。

一九八〇年代半ばに、短期大学と大学とを一体とし高等教育を総合再編成しようとする方針が学院全体に支持される方向に進んだ。そして多くの困難にもかかわらず、期待をこえるさまざまなる幸運に支えられ、三学部と大学院より成る文系総合大学への再編成が終り、緑園校地での一連の校舎建設がほぼ竣工して、フェリス女学院として初めて総合的大学キヤンバスが形成されつある。この時期に、三つの同窓会の一体的協力体制が整うことになったのは、まさに神の御導きによると思われ、心より感謝している。

よってその後の拡充は制約されました。大学と短期大学との併設は高等教育の充実にさまたげ的な困難をもたらした。

「アラムナイへの

学院長 岡野 昌雄



卒業生・同窓生を意味する英語の「アラムナイ」も、母校を意味するアルマ・マターも、共にラテン語のアレレ（一人称単数はアロー）から来ているようです。アレレの基本的な意味は「養い育てる」ですから、卒業生は養い育てるに育てられた人、母校は養い育てる母ということでしょう。しかし、聖書には「アボロとは何者か。また、パウロとは何者か。この二人は、あなたがたを信仰に導くためにそれぞれ主がお与えになった分に応じて仕えた者です。わたしは植え、アボロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。ですから、大切なのは、植える者でも水を注ぐ者でもなく、成長させてくださる神です」とありますから、何よりも感謝の気持を大事にしたいものです。

皆さんのアルマ・マターが生き生きと活力に満ち、皆さんの仲間となる新しいアラムナイを育てるわざに励むことができるようになります。これからもお支えを、心からお願ひします。

見送った年もありました。その意味では時代を超えて、しかも経験を共有した者同士として語り合える同窓会という場は貴重です。新参者の私が言うのもおこがましいですが、学部や専攻を超えて「フェリス」で一つになれる同窓会はとてもすばらしいことです。

年とともに仲間が減少してゆくことは避けられません。クラスメイトを立て続けに

最初から人数が決まっていますから、後は

です。同じ時期やクラスだけを考えると、

皆さんのアルマ・マターが生き生きと活力に満ち、皆さんの仲間となる新しいアラムナイを育てるわざに励むことができるようになります。これからもお支えを、心からお願ひします。

見送った年もありました。その意味では時代を超えて、しかも経験を共有した者同士として語り合える同窓会という場は貴重です。新参者の私が言うのもおこがましいですが、学部や専攻を超えて「フェリス」で一つになれる同窓会はとてもすばらしいことです。

年とともに仲間が減少してゆくことは避けられません。クラスメイトを立て続けに

最初から人数が決まっていますから、後は

です。同じ時期やクラスだけを考えると、

その十六年後の一九〇三(明治三十六)年には、文学科の名のもとに「二十一歳までの教育課程が設けられた。このことは、フエリス女子学院の高等教育に取り組む志がいかに早く芽生えていたか、また、その歴史がいかに長いかを教えてくれる。それはやがて創立

じつさい、自分で勝手に選んだ道、偶然に出会つただけと見えても、じつはそれが神の配慮によるのだとしたら、まったくの赤の他人同士が時と所を同じくして人生の大重要な時期と共に過ごしたという経験は、何とすばらしいことでしょう。

大学は今

学長
佐竹
明



今年は大学関係の3つの同窓会が一緒に総会を開くという画期的な試みがなされました。見事成功裡に終わりましたがそこに至るまでの、とくに役員の方々の苦労は、大きかったことと思います。同窓会が「これを機にますます発展を遂げられる」とを期待しております。

せつかく機会を与えて貰いましたので、少し大学の様子の報告をさせていただきます。

文学部が山手から緑園に移って、これで丸二年が経過しました。由緒のある、しかも思い出のつまらぬ山手を離ることは、とくに文學部関係者にとって決断を要するところだたと思いますが、二年間を振り返ってみて、この移転統合は全体として成功であった、という気がしています。関係者の、尽力で気持ちの

壞され、跡地は公園かと思わせるような広場にならでいます。

来年度は文学部にコミュニケーション学科を新設する予定で、目下準備を進めています。関係のものが多いのですが、フエリスの場合には「多文化」「共生」「表現とメディア」の3本の柱を立て、いわば社会的側面も重視している点が特徴です。とくにFor Othersを美生活の中でどう活かすかが、一つの課題となります。

臨時定員の「返上」で学生数は毎年少しづつ減っていますが、今年も、学部大学院を含ませて六〇〇人余の新入生を迎えるました。キャンパスでは活発な学生生活が展開されてい

いい図書館、文学部棟等が建築されたことでも、大いにうつてゐると思いますが、何よりも学生たちにとって他学部・他学科の授業をとるのが容易にならうこと、文学部については学生と教員とが當時同じキャンパスで過ごすことができるようにならなったことが、大きなプラスとして働いているように思います。

その点、山手に残された音楽学部の場合には、問題が残っているということになります。緑園キャンパスはそう広くなく、それに音楽学部にうべきわめて重要なフーリエホールは緑園に持つてくることができないので、この体制は当分変えることができません。その代わりといふわけではありませんが、この春には山手に新しく音楽練習棟を設けました。また、同志会(ひともうがい)も力んで、山手、昌平官房

山手の丘の上で

前學院長 小塩 節



今年二〇〇三年三月末日、皆様方の本

当にねじこもる送別の会をカハイ一講堂で催していただき、若くて朗らかな岡野昌雄新院長に安心して後事をお託しして山手の丘をおりることが出来ました。お心くばりの数々にあつくお申し上げます。お世話になりました。たとえ苦しいことがあっても(どこ)の学園も財政面ではそうです)、フェリスの将来はしっかりした岩の上に建てられて輝いています。

ところで、辞任したあともフエリスの宣伝塔守であることは止めておりませんので、四月の末には朝日新聞夕刊の連載コラムを書いたなかのひとつに、山手の丘の「赤い風車の学校」のことを書きました。明治の中期に水を確保するために真っ赤に塗った鉄

浦砂岩層を流れていた地下水を人力や電力でなく自然の風力で汲み上げた。その深い井戸は内壁を煉瓦でしつかり固めたもので、一昨年カイパー講堂及び中高一号館を建て直したときに改めて存在が確認されました。煉瓦はすべてピクトもしていません。もうたいいないと思いましたが、安全のために、その他の第二次大戦中に日本軍が掘つてそのまま放り出していった横穴などと合わせ、コンクリートでしつかり埋めてしまいました。赤い風車 자체は明治末期の大風で壊れたりはずし、一応しまってあります。再度そのままは使えません。本部資料室の中山さんがそのことをよく知つてくださいます。自然環境保護の先駆的事業です。

さてその記事を書いた翌日、NHK-TVの横浜放送局が、明治の井戸についての放映をしました。残念ながら私は視聴いたしませんでしたが、さてはあの赤い風車の深井戸かと思つて問い合わせましたら、残念ながら谷戸坂の下の、フランス居住区にがつしりした井戸跡があるというだけの話だった。そうで、局も残念がついましたが、フェリスのあの五十四メートルも掘つた井戸に比べるとお話しにもならぬしろものだった由。二重、三重にも惜しいことをしました。

井戸はいつたん埋めました。しかし清流は山手の丘の地下をいまもゆっくり豊かに流れています。いつかまた赤い風車が山手の丘の上に再現するといいですね。

りてら・Fグループ・りべるて 合同総会

2003年5月25日・緑園キャンパスにて



今回、はじめての試みとして、りてら・Fグループ・りべるてが同じ日に緑園校舎に集い、総会と礼拝、ミニコンサートと懇親会を開催いたしました。お天気にも恵まれ、予想をはるかに越える二〇〇名程が参集いたしました。

はじめに、各同窓会がそれぞれの総会を開き、一同チャペルに集まり礼拝を奉げ、佐竹先生からご挨拶をいただきました。大学の近況では、今後の少子化に伴う受験者数の減少から、同窓生の皆様もお嬢様と一緒に、もう一度キャンパスライフをお楽しみになりませんかとのお話を、一同なごやかな雰囲気に包みました。更に、充実した就職支援体制や、アジア各地での生活体験など、大学の取り組みについてお話し下さいました。

次に、今春音楽学部を卒業した、ソプラノの上田麻依子さん、ピアノの岩本夏菜子さんによるミニコンサートを楽しみました。チャペルに響くすばらしい歌声とピアノの音色は私達を、心豊かな気持ちにさせてくださいました。

その後、出席者全員での記念撮影、懇親会となりました。理事長の中島

先生のご挨拶、図書館長の本間先生、文部科学省の宮坂先生、国際交流学部長の高村先生より、お話を伺い、楽しいひと時を過ごしました。
なお来年は四月二十九日(祝・木)に開催されます。



りべるて

Vol.15

フェリス全同窓会と 「りべるて」

会長 皆澤 靖代



学院のご好意により家政科基金を担保に運営することとなり、実質的には以前に戻ることになりました。去る五月二十五日に

昨年より、大學二同窓会の話し合いが持たれ、総会の開催と会報の発行を合同で行

うこととなりました。去る五月二十五日に初めての合同総会が緑園校舎で開催されました。とは申しましても各々の同窓会は

独立して運営されておりまますので、各同窓会の総会は別々の会場で開催されました。

「りべるて」の会場となりましたキーホールはハイテクを駆使した設備で、全ての操作はパネルに触れるだけででき、目を見張るほどでした。これらの素晴らしい設備を

日の当たりにして、学院の発展を肌で感じ

ることができました。

その後、合同礼拝・ミニコンサート並びに懇親会と、合同総会の行事が滞りなく盛り込まれました。

それから十二年が過ぎ、会計を担当したのち会長という大役をお引き受けし、今年で六年目を迎えました。役員の皆様に助けられながら学院関係の方々並びに会員の皆様のご協力をいただき今日に至りました。

会長としての五年間、一番の問題は運営資金のことでした。三年間皆様より年会費のご協力をいただきましたが、本年度より

り、更に中・高の「白菊会」を含め、全同窓会の横つなぎはとても良い状態にあると思います。

次に、「りべるて」の活動についてお知らせいたします。各種講習会には、各分野で活躍されている同窓生に講師としてご協力をいたしております。お陰さまで講習会の回数も増えてまいりました。また、友井先生のお

代の友井先生の授業とは違った親しさを感じます。六月に開かれましたお料理教室には新学院長の岡野先生を試食会にお招きし、限られた時間でしたが岡野先生のお人柄に触れる事ができました。

私にとりまして、「りべるて」のいろいろな

催しがあるなかで、一番準備が大変であるにも拘わらず素晴らしいあと感動を感じる行事はバザーです。今年は十一月三日・四日に予定しております。家政科らしく手作り品を中心夏休み明けから準備

に取り掛かり、開催日が近付きますと家で夜遅くまで制作に追われます。出品した

品物が完売しますと今までの苦労は吹き飛んでしまいます。勿論、会員の皆様からの寄贈品の協力もいただき、心強く嬉しい限りです。また、手作りケーキで喫茶を開き、

今回の会報は三同窓会協力のもと、合同で発行することとなりました。他の同窓会の現状も知ることができますという利点もありますが、如何でしょうか? この二つの

初めての試みは反省点もあると思いますが次につなげて行くことができると思っています。

このように大学三同窓会の連携も深ま

ります。

「りべるて」の同窓会は他の同窓会と異なり、学部は終了してしまい新会員を迎えるという活気には少々欠けますが、同窓生の拠り所とし、また、学院と同窓生とのパイプ役として皆様のお役に立てればと思っております。今後の「りべるて」同窓会の発展のためにも皆様の温かい協力をお願い申し上げます。



行事予定

十一月三日(月)・四日(火)

フェリス祭参加バザー

午前十一時

十一月二十六日(水)

ステンドグラス講習会

午前十時半

十一月四日(木)

テーブルコーディネート講習会

午前十時半

十一月十三日(土)

フェリス女学院全同窓会

クリスマス礼拝

午前十一時～フェリスホール

二〇〇四年

一月 大森先生お菓子教室

二月 プリザーブドフラワーによるアレンジメント教室

三月 北欧絹織物教室



活躍する
同窓生



D 55 山下 文江

香りと出会ったのは六年前、四人の子供を連れて離婚の時、弱った私に香りはもう一度夢を描く力を与えてくれました。香り創りとは絵を描くのと同じようく様々な香料を用いてイメージを表現する、香りの芸術です。香りを観ることは、自分に問い合わせ、対峙すること。香りを通して今まで気づかなかつた自分を発見し、そこから新しい自分を創り上げていくエネルギーを得ることができます。そして創る過程では、想像の世界へ入り込むため、ストレスを回避することができます。香り創りはアートであると同時に香りの薬理的な効果を用いたアロマセラピーとはちがう香りの心理的な力を用いた「フレグランスセラピー」もあります。五感の中で嗅覚の研究、教育への応用は一番遅れています。香りが魅せてくれた世界を今後、教育や芸術療法にまでつなげていきたいと思います。商品としては「心に届く香り」をめざし、様々な香りとのコラボレーションを提案していきたいと夢をふく

らませています。現在長女が国際交流学部、二女が文学部にお世話になる幸せにも恵まれました。キリスト教概論を教えていただいた岡崎晃先生の最後の教え子が娘という神様のお引き合われにより、先生と再会することができました。私の商品が高島屋に出ていることを知つて、永田道子先生が訪ねてくださいました。その後奥山先生、川又

先生にもお目にかかることができました。先生方との再会、フェリスの礼拝堂に座つた時、いつまでも変わらない母校の愛の深さを全身に感じ涙があふれました。

これまでがあり、今がある。すべて感謝できる幸運。神の恵みに心から感謝いたします。今ある私に何ができるか——最大限に自分を生かす事、今を精一杯生きる事こそ、常に私を導いてくれたFor othersにつながる道であると感じています。フェリスでいただいた深い愛と教えを胸に一瞬一瞬を大切に輝いて生きていきたいと思っています。

最後になりましたが、このような機会をいただきつたない私の歩みをご報告させていただけましたこと、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

フレグランス デザイナー
(有)メイリリー 代表取締役

現在フェリス女学院大学生涯学習課よりオーブンカレッジにお声をかけていただいております。

お料理教室

ビーズ教室

六月十二日、友井先生のお料理教室が開催され、初めて参加させて頂きました。

まず友井先生のお話から始まり、先輩の皆様方のてきぱきとした作業で、次々とお料理ができあがりました。



講習会では「ボンボンネットクレス」を作製しました。細かいビーズの扱いに悪戦苦闘しましたが、先生の丁寧なそして辛抱強いご指導により夏らしい、涼しげなネックレスを作上げる事が出来ました。初めての経験で分からぬ事ばかりでしたが、日々の忙しさを忘れて短い時間ではありました。じっくりと集中して一つの物を作り上げるという素晴らしい時間を持てた事、そして達成感を味わえた事を嬉しく思います。これからもこのような講習会には是非参加させて頂きたいと思います。

小倉先生そしてりべるての役員の皆様方ありがとうございました。

私はとつて久し振りに訪れた母校で、このようにとても素敵なお料理を頂きました。

私にとって久し振りに訪れた母校で、過すことができましたことを、友井先生、そしてお料理教室を企画して下さる同窓会役員の皆様方に心より感謝いたします。

お菓子教室への誘い

西村 恵(D 60)

二〇〇四年一月に大森いく子先生のお菓子教室が開催されます。季節感のある身体にやさしいお菓子をお楽しみください。ご参加お待ちしております。

國崎 尚子(D 60)

ます。

このようにとても素敵なお料理をおしゃべりをしながらおいしいお料理を頂きました。

私はとつて久し振りに訪れた母校で、このようにとても素敵なお料理を頂きました。

私にとって久し振りに訪れた母校で、過すことができましたことを、友井先生、そしてお料理教室を企画して下さる同窓会役員の皆様方に心より感謝いたしました。

二〇〇四年一月に大森いく子先生のお菓子教室が開催されます。

季節感のある身体にやさしいお菓子をお楽しみください。ご参加お待ちしております。

横浜の遺産 赤レンガ倉庫

横浜に残る迫力ある建物といえば、赤レンガ倉庫です。

桜木町駅から赤レンガ倉庫を結ぶ汽車道は、かつて、港への貨物車が走つたレ



ールや、トラス橋などの歴史的景観を生かした道です。

赤レンガ倉庫は、二棟あり、妻木頼黄氏の設計です。二号倉庫は明治四〇年十一月着工、四四年五月に竣工し、一号倉庫は大正二年に竣工しましたが、関東大震災で半分以上が焼失倒壊しました。二号倉庫がほとんど無傷だったのは、ドイツから輸入された鉄骨で補強され、入念に仕上げられた明治の技術のおかげだそうです。延長一四九メートル、幅二二メートル、高さ一八メートル、二号倉庫だけでも、イギリスから輸入した三十六万七五〇〇個のレンガが使われました。

この辺りは、新港埠頭と呼ばれていますが、横浜では一番古い埠頭です。昔横浜の港は、大型の舟は沖に停泊し、人も貨物も小さな舟で陸に運んでいました。その小舟の舟付き場は「象の鼻」と呼ばれ、大桟橋のところに今も残っています。しかし、これでは能率が悪いので、埋立による全く新しい埠頭、新港埠頭を作りました。戦前、「浅間丸」などの豪華客船

の北米航路専用岸壁として、テープを投げ別れを惜しむ人々を赤レンガ倉庫は見守り続けていました。

そして今、赤レンガパークと名付けられた一帯は、赤レンガ倉庫を中心に旧横浜税関跡の遺構や、旧横浜港（よこはまみなと）駅のプラットホームを保存し、明治の広場、水際線広場、芝生広場で構成されています。全面改修してオープンした赤レンガ倉庫の一號倉庫は、音楽、演劇、映画、美術など、横浜らしい文化を創出し、文化に触ることのできる場となり、二号倉庫は食を中心に、賑わいと憩いの空間を目指しています。

汽車道から赤レンガパーク、そして、貨物線の鉄道高架を利用した山下臨港線プロムナードと、潮風をうけ散策してみませんか。

お問い合わせ先

赤レンガ倉庫一號館

TEL〇四五(一一一)一五一五

TEL〇四五(一一七)二〇〇二

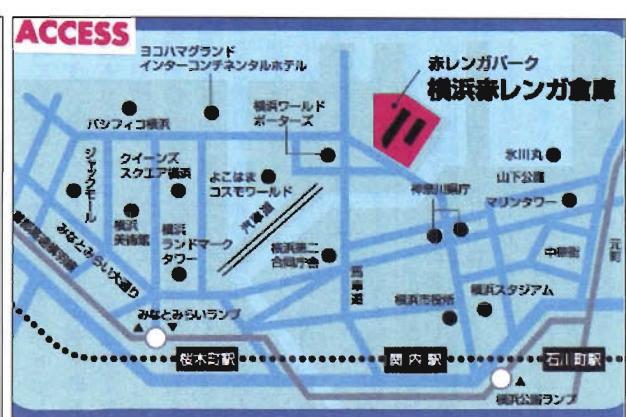
献品のお願い

フェリス祭バザー当日に販売する日用雑貨品や贈答品等がございまたら、ご寄付くださるようお願い申し上げます。尚、未使用の品で食料品・衣類は除外させていただきます。

・受付期間 十一月二日まで

毎週木曜日 午前十一時～午後三時

・受付場所 家政科記念館
郵送・宅配便でお送りいただいても結構です。



■ 2002年度決算報告書

2002年4月1日~2003年3月31日

科 目	金 額	備 考
前年度からの繰越金	15,787,577	
今年度の収入		
利息収入	81,718	
事業収益	895,499	フェリスグッズ・バザー収益
基金運営費	0	
年会費	60,000	
寄付金	1,721	
小計	1,038,938	
合 計	16,826,515	
今年度の支出		
消耗品費	4,821	
旅費・交通費	298,780	
通信・運搬費	1,068,120	
印刷・製本費	1,002,718	
報酬・手数料	15,804	
会議・会合費	37,936	
諸会費	70,000	
涉外費	61,257	
雑費	22,218	
事業費	555,817	
寄付金	281,513	ユニセフ、維持協力会、他
小計	3,418,984	
翌年度への繰越金	13,407,531	財産
合 計	16,826,515	

定期預金NO.1	6,279,641	
定期預金NO.2	2,626,240	
定額預金	3,006,295	
普通預金	1,435,355	
振替金	60,000	
合計	13,407,531	

*監査の結果、正確であったことを確認致しました。 2003年3月31日

■ 2003年度予算

2003年5月25日

科 目	金 額
消耗品費	事務用 10,000
	その他 10,000
旅費・交通費	300,000
通信・運搬費	郵便料金 1,100,000
	宅急便 5,000
印刷・製本費	1,000,000
報酬・手数料	35,000
会議・会合費	50,000
諸会費	70,000
渉外費	100,000
雑費	10,000
修繕費	10,000
事業費	300,000
合計	3,000,000

会計

岡 布子
河合 恵子
志村 義子

会計監査

金田 浩枝子
石井 克子

どうぞ気軽にご参加下さい。

賛美と交わりの集い
毎日第四火曜日
午後十一時～十二時
場所 家政科記念館
連絡先 杉元 幸子 (D 42)

新役員

総務 佐藤 昌子 (D 57)

お願い

●会員の中でも不明者がとても増えていますので、ご結婚・ご不幸・住所変更等がありましたら卒業年度明記のうえご連絡下さい。

- 使用済みの切手・テレフォンカードを送つて下さい。同窓会では定期的に各機関へお届けしております。
- (1)切手の周りを五ミリ程残して切り取つて下さい。
- (2)カードはテレフォンカードに限ります。

フェリスグッズのご案内

●エプロン 2,000円
黒・赤・茶・紺・ピンク



●ハンドタオル 450円
ピンク・ブルー・ライトグリーン・クリーム

●スプーン フォークセット 500円

●ジュエリーBox 大1,000円 小700円

●紙ナップキンセット 200円



音楽教育「これまで」と「これから」



音楽学部長 渡邊 明



Fグループの皆さんへ

Fグループ会長 中田 幸子

以前Fグループ会報で「苦難のときは至福のとき」と題して、フェリスの音楽教育がこの50年間掲げて来た理想主義的教育はひとつ転機を迎えており、今こそしっかりと現実を見据えた着

実なヴィジョンが打ち立てられなければならないというようなことを書いた。あれから一年も経たないうちに、このことが現実のものとなつた。つまり二〇〇三年度の入試において学部の定員は確保したもの、声楽学科においては結果的に定員に届かなかつたのである。これは私がフェリスの音楽教育に関わるようになって以来25年間の中でのはじめての事件である。今がフェリスの音楽教育の「これまで」と「これから」の転機を示すターニングポイントであることを如實に物語る事件であると言えよう。

世の中の18歳人口が暫減し二〇〇九年度に底を打つまで、まだ多少は時間があると暢気に構えていたが、日本における社会的、精神的变化は予想を超えるスピードで進んでいたのである。早急にその対応が求められるが、それは一人フェリスだけの問題ではない。これは日本における西洋クラシック音楽一辺倒の音楽教育と音楽大学そのものの在り方への警笛でもある。したがつて日本における音楽教育の原点を再検証する中から、音楽教育の新たなインフラストラクチャ的なものを構築しなければならないであろう。

この様な認識の上に立つて私達はこの度、音楽の舞台を目指す専門家の育成のみに拘われず、それを充実させながらも一方音楽を基本的に「文字の文化」に対する「音の文化」として捉え、音楽と社会との繋がりを強く意識した新しいワインケを開拓することとした。具体的なその内容は、音楽を社会に還元するために必要な音楽の応用領域がその中心になるである

いう事ではなくフェリス女学院は一つであるという理念を大切にし、大学同窓会もこれから出来うる限り一つにまとまっていきたいと思います。五月二十五日(日)には第一回の大学同窓会合同総会を緑園校舎で開催致しました。その様子はこの会報をご覧になるとお分かりいただけるとおもいますが、それはそれは盛会でした。Fグループ役員は卒業生と学校とのパイプ役や演奏の機会、研修の機会などを作りながら音楽の向上に手助けする事に努力しております。最近Fグループの練習室

ごしでいらっしゃいます。今年も会報をお届けする季節がま

お変わりなくお過ごしです。古い学部も出来ていくことで、古い学部も消える事もあるかもしれません。そう考えた時、我々同窓生は何々学部卒業と

いりました。今回は初めての試みとして、フェリス女学院大学同窓会会報として、りてら、りべるで、Fグループが一つになつて出す事に致しました。今、大学はフェリスの伝統を守りながらも時代のニーズに合わせた教育を進めております。この厳しい時代を乗り越えていくためには、新しい学部も出来ていくことでしょうし、古い学部も消える事もあるかもしれません。そう考えた時、我々同窓生は何々学部卒業と

も出来ました。どうぞご利用ください。
さて、来年は会長改選の年になります。Fグループ会則に従い会長を二期(六年)プラス一年務めさせていただきました。その間、夫の死、母の死と、私にとって大変苦しい時期もありましたがFグループ役員始め多くの会員の励ましや支えで何とか任期を終わる事が出来、皆さんのお陰と感謝しております。私の皆さんへの会報が最後になりました。長い間のご協力、ありがとうございました。



うが、目指すところは音楽の専門教育に対する音楽の教養教育的なもので、広く人間としての総合教育の中に音楽を取り込んだものとなる。分かり易く言えば、プロの音楽家にならなくても生涯的に音楽とすばらしい関係を続けていきたいと願う人達にも、その可能性を提供しようと/or>いうものである。

幸い本学の他学部においては優れた人間教育が行われており、そこでは永年積み重ねられた豊富な教養科目が用意されている。私達の新しいワインケではそれらの科目群を学部の枠を超えて積極的に取り入れたいし、定評あるフェリスの「就職支援」なども大いに活用していくたい。要は音楽家である前に、教養ある社会人として自立した女性であつて欲しいのである。

2002年

音楽の贈り物

●ジョイントコンサート

二〇〇二年九月二十三日(月・祝)
於: フェリスホール



齊藤京子さん ソプラノ独唱

この日は

台風の通過
で、変わり

やすい生憎

のお天気で
したが、山
手の丘のフ
エリスホー
ルでは、同
窓生達の演
奏による素
晴らしい音
楽が響き渡
りました。

毎年度新しい同窓生を迎える、出演者の
顔ぶれ、そして活躍の分野も多様となり、
ジョイントコンサートの企画内容も実に
多彩なものとなっていました。参加
者の経験を拝見しまして、多くの同窓生
の躍進に驚嘆しております。

この日のジョイントコンサートでは、複
数の若い声楽およびピアノのソリスト達
による素晴らしい演奏が披露されまし
た。更に、本大学元講師の桑原妙子さん
(10回生)率いる女声合唱団、そして本大

学助教授の齋藤京子さん(34回生)の独唱
で、場内は大いに盛り上がり、大勢の聴
衆の方々に喜ばれました。

こうしたコンサートで、毎年優れた新
しい音楽家を知ることができますこと
は、私たちのみならず来聴された方々に
とても、大きな喜びがあります。

次回はどんな会となりますでしょう
か、スタッフ一同、今から楽しみにしてい
るところですぞいります。
皆様どうぞ足をお運びください。

担当 井上真記子(22回生)

出演者(演奏順 敬称略)

▼海野美栄(ソプラノ独唱・44回生)・杵淵
宏美(ピアノ伴奏・49回生) ▼渡邊ゆうび
(ピアノ独奏・51回生) ▼安西梓乃(ピアノ
独奏・50回生) ▼TOKYO CHAMBER
CHOIR(女声合唱団)・桑原妙子(指揮・10
回生)・堀内陽子(ピアノ伴奏・31回生) ▼
尾和晶子(ピアノ独奏・45回生) ▼齊藤京
子(ソプラノ独唱・34回生)・野村朋子(ピ
アノ伴奏・48回生)

●研修会「オルガンの魅力」

講師・オルガン 宮本とも子先生

トランペット 安部ちさと先生

二〇〇二年十月十四日(月・祝)
於: フェリスホール

毎年度新しい同窓生を迎える、出演者の
顔ぶれ、そして活躍の分野も多様となり、
ジョイントコンサートの企画内容も実に
多彩なものとなっていました。参加
者の経験を拝見しまして、多くの同窓生
の躍進に驚嘆しております。

この日のジョイントコンサートでは、複
数の若い声楽およびピアノのソリスト達
による素晴らしい演奏が披露されまし
た。更に、本大学元講師の桑原妙子さん
(10回生)率いる女声合唱団、そして本大

し、パイプオ
ルガンにつ
いて、様々な
お話を伺い
ました。
多くの方
にお馴染み
のフェリス
ホールのパイプオルガンですが、その構
造や特徴については、知らないところが多
いものです。この日の宮本とも子先生の講
演で、パイプオルガンというものは、鍵盤楽
器ではなく、むしろ管楽器なのだというこ
とが実感できました。また、このパイプオ
ルガンには全部で四段の鍵盤が付いていま
すが、それぞれの段の鍵盤に対し、それぞ
れの音源となる膨大な数のパイプが収めら
れているので、それだけ大きな楽器になる
のだ、というご説明を伺い、パイプオルガン
を見る時の気持ちが変わつてしまいまし
た。更に、「その国の、その場所に設置する
パイプオルガンの為に」材料を選定し、製
作にとりかかるオルガン製作者の熱意につ
いても伺い、この楽器に対する私たちの理
解が深められました。

講演のあと、本学講師の安部ちさと先
生のトランペットとの共演で、私たちの耳を
楽しませてくださいました。最後、希望者
を募っての「オルガン演奏体験学習」の時間
では、実にたくさんの聴講者の方々が参加
し、思いもかけない鍵盤の感触と響きに
びっくりされました。

この日の研修会では、本大学でご指導
なさりながら、多彩なコンサート活動を
展開している宮本とも子先生をお招き
するような企画を考えております。一人
次回も、講演と演奏を楽しんでいただ
くくださいました。

担当 小林周子(29回生)

でも多くの方のご来場を楽しみにしてお
ります。

担当 比留間和子(16回生)

●ティータイムコンサート

出演 芳野靖夫先生 バリトン

二〇〇二年十一月七日(木)
於: 大学山手六号館第一別館一階ホー
ル



オルガン初体験!ワクワク

秋も深まつた十一月の木曜日の昼下が
り、本大学元学部長の芳野靖夫先生をお
招きしまして、茶菓を頂きながら先生の
お話を演奏を楽しめていただきました。

この日の芳
野靖夫先生の
お話をテーマは
「人生のターニ
ングポイント」。
ご自分が大学
入試の為に習
得したという
歌曲について
は、「当時自分
の周りに声楽
の先生がいな
かったので、ピアノの先生に教わった」、また
別の歌曲を歌つてくださいました際には、「日本
音楽コンクールで落選した時のレパートリー
などといった解説で会場を笑いの
渦に巻き込みながら、それでも相変わら
ずの素晴らしい歌声で、私たちを喜ばせて
くださいました。



歌こそ我が人生… ウム。

支部だより

北支部

北支部長・工藤 羊子（30回）

昨年9月23日、仙台にて同窓会を行いました。参加者七名と少ない人数でしたが、活動に、そして親密にこれらの活動について話し合うことができたのは幸運でした。

さうそく今年7月19日に、工藤、平岩、ヴァイオリニストフエリスの方ではありますんがと、私の所属教会である札幌中央教会で演奏会を開き、その後同窓会を行うことになりました。来年は、仙台でのバロックダンス講習会も企画しています。

中部支部

中部支部長 牛込 まり（25回）

毎年、3つのコンサートを開催しています。一つ目は、ふれっしゅ・コンサート。新卒業生のうち教授会の推薦をいただいた方達のコンサートになります。今年度は八名の出演者があります。久々に弦の演奏もありますので、フエリスの弦の存在を大いに示す機会になります。

二つ目は、秋のコンサート。昨年は、卒業生がそれそれにかかりを持っています。演奏家の方達にも出演をお願いして、邦楽やデュオ、トリオなど賑やかな演奏会になりました。今年は、黒川先生と平松先生に来ていただきての演奏会です。

前半を卒業生、後半を先生方にお願いする初めての試みです。今をときめく先生方が快く出演を受けてくださり、感謝と期待で準備を進めております。

三つ目は生徒達の合同演奏会。今の子供達の対応に戸惑いながらの演奏会です。

フェリスの他学部との合同同窓会が宙ぶらりんになっています。諸事情でなかなか実現しませんが、近々なんとか実現させるつもりでおります。

関西支部

関西支部長 平松 都（20回）

昨年度は11月20日、晚秋の京都高台寺にて、りてら・りべる・白菊会・Fグループ・合同の同窓会が行われました。翠紅山荘「京大和」の素晴らしい枯山水のお庭を拝見し、上品な色どりの京料理に舌鼓を打ちながら、新旧入り交ってのなごやかな雰囲気の中でお話を弾みました。

先輩のお子様の演奏活動など二世のご活躍がちらほらと聞かれるようになります。又、昨年卒業されたばかりの若い後輩の方の抱負なども伺うことができ、次回は必ず音楽のある会に……との意欲的なご意見も戴いて、是非実行しましようと言いました。二時間余りの懇談の後、紅葉も見頃の高台寺を散策しました。

まいります。この十年の歩みが土台となつて、次の新しい第一歩が踏み出せそう予感がしてまいります。すべての事に期待で準備を進めております。

新役員に交代いたします。引き続き宜しくお願い申し上げます。

報告 深堀 好子（20回）

九州支部長 牛島 憲子（19回）

私達九州支部は、昨年の7月15日に山岡優子先生をお迎えして同窓会を致しました。まず先生の素晴らしい演奏を楽しみ、食事会へと移りました。その間に先生が大学の現状やチャイコフスキーコンクールの審査員を務められた際の上原彩子さんの印象等をお話してくださいました。その後役員が交代しました。

新役員の間で、何度か役員会を行い、今後の方針を話し合いました。その結果、九

まいります。この十年の歩みが土台となつて、次の新しい第一歩が踏み出せそう予感がしてまいります。すべての事に期待で準備を進めております。

新役員に交代いたします。引き続き宜しくお願い申し上げます。

報告 長 千英子（23回）

「音楽学部推薦入試へ向けて」 フェリス音楽教室（山手） 受験科体験教室 生徒募集

日時：2003年9月6日（土）

山手校舎5号館

高3以上 15:40～18:40

高1・高2 16:50～18:30

お問い合わせ

熊取谷（くまとりや）（16回）

9月6日以降のお問合せ（土曜日のみ）

045-641-8396

フェリス音楽教室

後援演奏会

- 中村友香ソプラノリサイタル（02.7.13 ザコンサートホール）中村友香・小野綾子（46回）
- 歌曲でつづる四季とオペレッタのタベ（02.7.24 鎌倉生涯学習センター）吉沢のぞみ（32回）
- Anfang Joint Concert（02.9.13 あいのホール）伊藤和子・村上京子（24回）安部まり（34回）真弓喜代子（42回）真弓由喜子（43回）
- 江口元子リサイタル（02.11.10 王子ホール）江口元子（4回）
- フルートデュオの魅力（02.12.14 山手111番館）清水麻衣子・永瀬愛・高尾友子（49回）
- 小林周子ピアノリサイタル（03.1.7 横浜みなとみらいホール小）小林周子（29回）
- 高須亜紀子ピアノリサイタル（03.1.10 王子ホール）高須亜紀子（40回）
- スマイルコンサート（03.6.7 山辺町中央公民館）海出智和子（33回）
- Summer Concert（03.7.1 サンハート音楽ホール）城田英子・山口明子・宮本京子・鈴木紀子・川辺恵子・益田京子・須永藤子・般若須美子・川辺晶子・岡部ゆかり・小倉一美（30回）

【選挙管理委員会発足】

任期満了に伴う

Fグループ会長選挙のお知らせ

二〇〇三年度末に任期満了となります。同窓会会長の後任は会則に基づき選挙によって選出されます。

会長のお役目は卒業生全員の代表として会の発展と母校創立の精神を尊重し、会員相互の親睦と発展に尽力を頂くことがあります。歴代の会長は献身的な奉仕の精神でこの任務を果たして下さり、今日のFグループが存在してこれたものと思います。次期会長もその精神を引き継ぎ存分に

ご活躍頂けるものと期待しております。

私こそと思われる方、この人こそとご推薦下さる方は選挙管理委員の方へご一報

頂きたいと思います。規約に従つて立候補の手続をしていただきます。

・立候補の届出期日

二〇〇四年一月二十日(当日消印有効)

・選挙管理委員会

委員長	田辺 静子(10回)
委員	大島 君子(3回)
	久保田敬子(13回)
	太田 和代(25回)
平井 桂子(33回)	

・お問い合わせ

●事務局だより●

- ◆住所・電話・姓の変更は旧姓・整理番号(宛名ラベル右上にある「0000M000」です)と一緒にお知らせ下さい。
- ◆6号館632教室は今までの同窓会室1階の部屋に代わり、ご利用いただけます。(ピアノ有・50名収容・使用料無料・土曜祝日使用可能)練習・同窓会などのご予定がある方はご連絡下さい。
- ◆宛名ラベルの印刷を1枚(24人分)80円で承っております。
- ◆慶弔連絡のお願い 同窓生、先生の慶弔をご一報下さい。

事務局の開室は 木曜日 10:00~17:00
T/F (045) 681-6740
E-mail f-group@ferris.ne.jp



一致団結、和気藹々 — 役員で～す！

2002年度会計収支報告

<収入の部>

項目	予算額	決算額
終身会費	4,000,000	4,000,000
総会会費	250,000	300,000
研修会会費	150,000	178,000
ティータイム会費	30,000	40,000
ジョイントコンサート	300,000	386,000
宛名シール	30,000	24,620
雑収入	30,000	31,830
銀行利息	500	31
小計	4,790,500	4,960,481
前年度繰越金	2,114,233	2,114,233
収入の部合計	6,904,733	7,074,714

<支出の部>

項目	予算額	決算額
(1)運営費	[1,160,000]	[880,768]
会議費	50,000	16,052
印刷費	60,000	54,375
通信費	10,000	6,790
人件費	350,000	336,000
交際費	100,000	76,390
事務費	50,000	32,701
出張費	100,000	20,660
交通費	300,000	268,500
学年幹事会費	60,000	59,914
特別委員会	30,000	9,386
予備費	50,000	0
(2)活動費	[3,560,000]	[2,757,482]
総会関係費	900,000	888,401
研修会関係費	320,000	279,824
ティータイム関係費	130,000	115,859
会報関係費	780,000	682,714
ジョイントコンサート	320,000	296,477
リサイタル後援費	110,000	40,420
支部関係費	600,000	373,720
慶弔関係費	200,000	80,067
予備費	200,000	0
(3)諸会費	[670,000]	[670,000]
全同窓会費	70,000	70,000
130周年募金	600,000	600,000
(4)積立金	[700,000]	[700,000]
名簿積立金	200,000	200,000
積立金	500,000	500,000
(5)予備費	[814,733]	[0]
支出合計	6,904,733	5,008,250
剰余金		2,066,464
支出の部合計	6,904,733	7,074,714

りてら地方会からのおたより

●愛知フェリス会

早いもので、愛知フェリス会が発足いたしました。会を重ねますうちに、それぞれの会員の身辺にも少しづつ変化があり、何度かお目にかかる方とは喜びや悲しみを共に感じ合えるようにもなってまいりました。「同窓生」という概念は、学生時代とても漠然としたものでございましたが、実際に参加させて頂き、同級生のみならず、先輩や後輩の方々とお付き合いさせて頂きますと、現役の学生では味わうことのできない特別な暖かい繋がりを感じます。ご縁あり同じ大学に学んだ者同志が様々な年代の枠を超えて集う時の貴重な体験を得ることが出来まして、心より嬉しく思っております。



愛知フェリス会は、りてら地方会員の思いがけない場所での出会いから始まりまして、愛知県及びその近郊のりてらの会員の方々にお声をかけさせて頂くところから始まりました。

これまでこの会の存在をご存知な方々、参加をためらわれていたら会員の皆様、どうかお気軽に一人でもご参加下さいませ。

暖かな気持ちで全員がお迎え申し上げます。

連絡先　岡田　郁子(85)

●栃木フェリス会

りてらの皆様お元気ですか。

近くで、遠い栃木の地で、同じ学び舎にあつた者同志、親睦を深め、心を交し合いながら続けてまいりましたこの会も、今年は会員の皆様それぞれに忙しい年でした(例えは受験生がいるとか、年取られたご両親のお世話で…とか)会としての活動は特にありませんでした。でも、御安心ください。会は健在で、会長・山口りえ子、事務局・安藤瞳さんで、又新しい始動の時を待っています。この地ならではの活動と親睦の輪を広めてまいりたいと思つております。どうぞよ

ろしく御願い申し上げます。乞御期待!

連絡先　山口りえ子(74)

事務局　安藤　瞳(76)

レポート用紙
レポート用紙(A4版)

¥280
¥345

原稿用紙
一筆用便箋

¥250
¥180

ミニ封筒セット
2つ折カードセット

¥160
¥160

校章シール(2シート)
カラーフラッシュ

¥250
¥250

ボーラン(各)
シャーペン

¥100
¥100

クリアファイルセット

¥285

クリアバック(グリーン)

¥1,700



収入	支出
ジェイビーマート 1,804,531	小林紙工 2,583,743
通販 86,585	有隣堂 960
フェリスショップ 2,058,538	ワールドアイ 293,196
利息 155	西田義商店 624,750
雑収入 1,037	加門化工所 931,969
小計 3,950,846	山口ショッピングモール 6,057
繰越在庫 1,325,185	振込 6,089
前年度繰越金 7,721,933	送り 1,840
合計 12,997,964	雜費 346
	買戻 2,990
	大学への寄付金 3,003,000
	小計 7,454,940
	来年度繰越計 5,543,024
	合計 12,997,964

● 同窓会室　りてら	携帯用ストラップ(ミニ)	¥550	レポート用紙 レポート用紙(A4版)	¥280 ¥345
TEL・FAX 045-812-86920	スチーカー用ソックス	¥500	原稿用紙 一筆用便箋	¥250 ¥180
メールアドレス	ベンダント(特別価格)	¥1,000	ミニ封筒セット 2つ折カードセット	¥160 ¥160
litala@uranus.dti.ne.jp	革製カード入れ	¥1,200	校章シール(2シート) カラーフラッシュ	¥250 ¥250
横浜市泉区緑園4-15-3	(ビンク・クリーム・ グリーン・ブルー)	¥300	ボーラン(各) シャーペン	¥100 ¥100
TEL・FAX 045-812-86920	レース縁取りハンカチ	¥130	クリアバック(グリーン)	¥1,700
メールアドレス	(ビンク・グリーン・ ブルー)	¥150	紙袋(大)	¥180
litala@uranus.dti.ne.jp	クラフト紙袋(大)	¥150	紙袋(小)	¥150
横浜市泉区緑園4-15-3	(いやなし)(中)	¥130	(いやなし)(中)	¥1,700
TEL・FAX 045-812-86920	(小)	¥130	クリアファイルセット	¥285
メールアドレス	グリーン・ブルー	¥150	ボーラン(各)	¥100
litala@uranus.dti.ne.jp	スチーカー用ソックス	¥500	シャーペン	¥100
横浜市泉区緑園4-15-3	ベンダント(特別価格)	¥1,000	クリアバック(グリーン)	¥1,700
TEL・FAX 045-812-86920	革製カード入れ	¥1,200	紙袋(大)	¥180

卒業生紹介

かしこ伯母の夢をわが夢として

岡田 正代(55E)



今から十年前、伯母川喜多かしこが他界し、私は、突然「川喜多記念映画文化財団」を引き受けたことになりました。

かしこは、もともと私にとって単に血のつながった伯母という以上の存在でした。かしこは、一九五五年短大英文学卒の大先輩です。そして映画大好き人間で映画一筋に仕事に打ち込んで生きる彼女の姿をいつも視野のどこかに置いていた私は、かしこの夢を叶えるために、かしこと一緒に映像の仕事をしていくことを……ほんとうに思いがけなく、かしこの仕事を引き継ぐことになったのでした。

この財団は、かしこが映画への深い愛と高い理念をもつて創立したもので、まず、優れた映画や映画に関する資料を収集し活用して、次の世代の映画人を育てたいと願い。また、異なる国の人々が異なる国での生活や文化や人情を知つて理解し合うのに映画ほど有効で強力な手だてはない」と信じた彼女は、映画を通じての国際交流を財團の事業の大なる目的のひとつと定めていました。

かしこの志をしっかりと受け継ぎ、財團の

活動を一層充実させ発展させたい気持ち

は山々ながら所詮力不足の私ですが、ま

わりの方たちの心強い御支援と熱意ある

スタッフの頗もしい協力を得て、次の十年に向かい精一杯努力しているところです。

そして実は、かしこはもうひとつ、大きな夢を遺して逝きました。長年愛し住み慣れた鎌倉・雪の下の自宅跡に、たとえ小さくとも、映画文化の発信の場となるような施設を創つてほしいというのが遺言だったのです。

その遺志にそのため、私は鎌倉市にご相談し、雪の下の土地建物を市に寄贈、市が施設をつくってくださることになります。ただ、ご承知のように日本の社会全体が経済的に大変厳しい状況にありますので、文字通りカヌの歩みにも似たペースです。でも、市長はじめ市の職員の方々や地元の映画ファンのみなさんと知恵を出し合い、映画会を催したり、ポスター展を開いたり、資金集めに努めています。平成十八年にはその「川喜多記念館」(仮)が完成する予定です。

ここでは新しい映画や昔の名画をお観せしたり、日本映画を支えてこられた監督やスタッフ、あるいは評論家の方々の含蓄あるお話を聞いていたいたりできるはずれません。

「りてら」のみなさんもここで映画の世界を楽しんでいただけたら、伯母もどんなに喜ぶことでしょう。

私とお菓子作り

太田 薫(95E)



大学を卒業後、社会人3年目の春から

製菓学校として伝統

のあるル・コルドンブルーへ通い始めました。

学校では、全授業一人で一台のケ

キを作成します。始業と共に、各人が一

斉に材料の計量を始め、シェフが決めた

時間に仕上がるよう、逆算しながらケ

キを作ります。ここではお菓子作りの

基礎知識や技術、素材を生かす大切さ等

多くの事を学びました。また、私と同じ

くは社会人、夜はコルドンに通うクラ

スメートも多く互いに励まし合いながら

学校に通う内に一生の友とも出会う事

が出来ました。学校での一年半は、色々

な意味で私にとって貴重な経験となりま

した。

卒業後のクラスメートの道は様々で

す。パリへお菓子留学する人、パティスリーに就職する人、皆さん様々な形でお菓子作りをしています。私は昔も今も会社に通いながらお菓子作りをしています。

仕事のストレスをお菓子作りで解消し、

お菓子作りのスランプは仕事に集中して忘れるのです。退職しお菓子一すじの道も考えましたが、他分野での自分の能力もためしたく、「仕事とお菓子作りのバランスを保つ生活」を送る事に決めました。

今年の4月からはカフェエテラスで

らにお菓子の納品を開始。毎週土曜日の

納品に併せて私の生活も少しハードにな

っています。週半ばに、材料の買

出し、金曜日の真夜中からお菓子の試作

を始めます。一週間の仕事を終え一番

ラックスできるのがこの時間からです。

実際に自分の手で材料と器具の重みを

感じながら作業をすると自然とレシピの

アイデアも浮かんできます。現在は、カ

フェで好まれるお菓子とは?というマ

ケティング的な要素を考えかつ私が目

指すお菓子作りを追求しつつお菓子作り

に励んでいます。商品として完成する

迄には試行錯誤の連続ですが、この頃

ようやく「これが私のライフスタイル

かな」と思えてきました。これからも

私流に楽しみながら、お菓子作りに取

り組んでいきたいと思います。



会計報告と事業報告

2002年度決算報告

(2002.5.1~2003.3.31)

項 目		決 算
終身預金名簿	会員収入	14,820,000
身金簿	利息	20,332
預金簿	会員料金	20,000
雜收	入金	560,637
小計	計	15,420,969
前年合計	繰越金	28,339,776
合計	計	43,760,745

支出

項 目		決 算
事務印通給雜手	用品費	164,623
印信	刷費	1,168,263
通給雜手	費與費	3,425,492
通給雜手	料費	1,076,490
会業交交	數費	118,999
卒業記念品	関連費	9,254
卒業記念品	費代費	811,029
卒業記念品	料費	459,945
卒業記念品	付費	763,100
卒業記念品	料費	234,657
卒業記念品	付費	702,150
卒業記念品	料費	59,808
卒業記念品	付費	197,710
卒業記念品	料費	1,100,000
卒業記念品	付費	16,080
卒業記念品	料費	30,479
預金、その他	計	12,367,500
小計	計	22,705,579
来年度繰越金	計	21,055,166
合計	計	43,760,745

2003年度予算

項 目		決 算
終身預金	会員収入	10,500,000
預金	利息	10,000
雜収	入金	30,000
小計	計	10,540,000
前年合計	繰越金	15,287,127
合計	計	25,827,127

支出

項 目		決 算
事務印通給雜手	用品費	200,000
印信	刷費	2,500,000
通給雜手	費與費	3,500,000
通給雜手	料費	1,500,000
会業交交	數費	100,000
卒業記念品	関連費	50,000
卒業記念品	費代費	500,000
卒業記念品	料費	450,000
卒業記念品	付費	700,000
卒業記念品	料費	200,000
卒業記念品	付費	800,000
卒業記念品	料費	100,000
卒業記念品	付費	110,000
卒業記念品	料費	1,100,000
卒業記念品	付費	100,000
卒業記念品	料費	50,000
カフエテラリス	アシテラ関連費	2,000,000
小計	計	13,960,000
来年度繰越金	計	11,867,127
合計	計	25,827,127

2002年度事業報告

総会・学年幹事会等日程	
2002年5月2日	会計監査
5月7日	第1回役員会
5月18日	学年幹事会
6月4日	総会
6月12日	全同窓会連絡会
6月18日	第2回役員会
7月12日	第3回役員会
7月27日	お菓子講習会(1)
8月12日	お菓子講習会(2)
8月25日	会費未納者再請求
9月12日	役員会
9月28日	第4回役員会
10月5日	第5回役員会
10月12日	第6回役員会
10月19日	第7回役員会
10月26日	大学全同窓会会議
11月2日	ビオトープ完成、記念植樹
11月9日	会費未納者再請求
11月16日	全同窓会クリスマス礼拝
11月23日	第8回役員会
12月10日	第9回役員会
12月17日	大学全同窓会会議
12月24日	ビオトープ完成、記念植樹
12月31日	全同窓会クリスマス礼拝

総会・学年幹事会等日程	
2003年1月1日	第6回役員会
1月8日	大学全同窓会会議
1月15日	ビオトープ完成、記念植樹
1月22日	全同窓会クリスマス礼拝
1月29日	第7回役員会
2月5日	大学全同窓会会議
2月12日	ビオトープ完成、記念植樹
2月19日	第8回役員会
2月26日	大学全同窓会会議
3月2日	ビオトープ完成、記念植樹
3月9日	第9回役員会
3月16日	大学全同窓会会議
3月23日	ビオトープ完成、記念植樹
3月30日	第10回役員会
4月6日	大学全同窓会会議
4月13日	ビオトープ完成、記念植樹
4月20日	第11回役員会
4月27日	大学全同窓会会議
5月4日	ビオトープ完成、記念植樹
5月11日	第12回役員会
5月18日	大学全同窓会会議
5月25日	ビオトープ完成、記念植樹
5月32日	第13回役員会
6月8日	大学全同窓会会議
6月15日	ビオトープ完成、記念植樹
6月22日	第14回役員会
6月29日	大学全同窓会会議
7月6日	ビオトープ完成、記念植樹
7月13日	第15回役員会
7月20日	大学全同窓会会議
7月27日	ビオトープ完成、記念植樹
8月3日	第16回役員会
8月10日	大学全同窓会会議
8月17日	ビオトープ完成、記念植樹
8月24日	第17回役員会
8月31日	大学全同窓会会議

2003年度事業計画(会計年度4/1~3/31)

総会・学年幹事会等日程	
2003年1月1日	第1回役員会
1月8日	大学全同窓会会議
1月15日	全同窓会クリスマス礼拝
1月22日	第2回役員会
1月29日	大学全同窓会会議
2月5日	ビオトープ完成、記念植樹
2月12日	第3回役員会
2月19日	大学全同窓会会議
2月26日	ビオトープ完成、記念植樹
3月2日	第4回役員会
3月9日	大学全同窓会会議
3月16日	ビオトープ完成、記念植樹
3月23日	第5回役員会
3月30日	大学全同窓会会議
4月6日	ビオトープ完成、記念植樹
4月13日	第6回役員会
4月20日	大学全同窓会会議
4月27日	ビオトープ完成、記念植樹
5月4日	第7回役員会
5月11日	大学全同窓会会議
5月18日	ビオトープ完成、記念植樹
5月25日	第8回役員会
5月32日	大学全同窓会会議
6月8日	ビオトープ完成、記念植樹
6月15日	第9回役員会
6月22日	大学全同窓会会議
6月29日	ビオトープ完成、記念植樹
7月6日	第10回役員会
7月13日	大学全同窓会会議
7月20日	ビオトープ完成、記念植樹
7月27日	第11回役員会
8月3日	大学全同窓会会議
8月10日	ビオトープ完成、記念植樹
8月17日	第12回役員会
8月24日	大学全同窓会会議
8月31日	ビオトープ完成、記念植樹

資産

定期	東京三菱	10,000,000
	三井住友	10,000,000
	UFJ	10,000,000
	横浜	10,000,000
	郵便局	10,000,000
	JA横浜南	10,000,000
普通	三井住友	10,000,048
	横浜	10,934,902
	その他	120,216
計		81,055,166

終身会費

2003年度	328名	9,840,000
再請求	106名	3,180,000
再々請求	60名	1,800,000
計	494名	14,820,000

3月4日	第9回役員会
3月11日	大学全同窓会会議
3月18日	ビオトープ完成、記念植樹
3月25日	第10回役員会
3月32日	大学全同窓会会議

各同窓会だより

東京支部

フエリス女学院同窓会東京支部は、登録会員数8455名(白菊会)にて、Fグループを通して、東京及びその近郊にお住まいのフエリスの卒業生有志の集まりです。行事は、毎年10月始めの総会を含め、年8回くらい。新春歌舞伎等の観劇、季節の行楽(この数年は「江戸めぐり」)、研修会としてビデオによるオペラ鑑賞、講演会(今は気仙先生の『日本の心』などですが、今後教室から外へ出て、講演のテーマに沿った見学会をするなども考えられて居ります)。参加費はそれぞれ、無料のものもあります。研修会は小グループなので皆同好の友として、年齢などには関係なく親しく交わり、楽しく学んで居ります。

Fグループ 2003年度 コンサートのご案内

ジョイントコンサート

9月23日(火・祝)PM2:00~4:00 於:フェリスホール

[声楽]河村真理子(36・47回)/小瀧美穂(42回)/上田麻依子(52回)
[ピアノ]中野真帆子(34回)/笹本有子(44回)/小坂朋子(52回)

会費2,000円

研修会

10月13日(月・祝)PM2:00~3:30 於:フェリスホール

~ハンドベルの魅力~ 演奏とお話

指揮(お話):太田和男/演奏:クレシェンド

会費1,000円

ティータイム・コンサート

11月6日(木) PM2:00~3:30

於:フェリス女学院大学6号館 632教室

~音で綴る中田喜直の生涯~ お話:中田幸子(9回)

先着50名 会費1,000円

《お問い合わせ・お申し込み》

ジョイント:井上真記子(22回)

研修会:比留間和子(16回)

ティータイム:小林周子(29回)

(10月3日より受付)

Fグループ事務局(木曜日10時~17時)

T/F 045-681-6740

2002年度

フェリス女学院全同窓会連絡会 会計報告 (2002年6月1日~2003年3月31日)

前年度総額	1,384,354
全同窓会会費	280,000
利息	11
小計	280,011
合計	1,664,365
各支部へ祝儀(東京・西南・関西)	61,240
クリスマス礼拝関連費	94,070
慶弔費(中高校舎奉納式寄付金、小塩学院長退任感謝礼金、音楽練習完成祝金)	900,000
会議費	6,462
合計	1,061,772
翌年度総額	602,593

資料請求お問い合わせ先
入試課 ○四五二一八二二一九一八三

「For Others」の文字と、新しいステンドグラスの写真が鮮やかな二〇〇四年度大学案内が出来上がっています。お近くに大学受験をお考えの方がいらっしゃいましたら是非ご連絡ください。大学案内、募集要項、過去問題等、各種資料を無料送付いたします。

二〇〇三年九月二十七日(土)
一時開演 十二時三十分開場
フェリス女学院カイパー記念講堂

大人三千円 学生一千円
TEL○四五二六四一五二〇〇

主催 フェリス白菊会
後援 フェリス女学院中学校高等学校
問合せ 同窓会室(火・木在室)
受益はフェリス女学院中学校高等学校
校に寄付いたします。

源氏物語へのいざない
「夕顔の巻」
瀬戸内 寂聴 訳
White Daisy Fair



受益はフェリス女学院中学校高等学校
校に寄付いたします。
TEL○四五二六四一五二〇〇

サークル紹介

聖書を学ぶ会

聖書を学ぶ会では、今、ルカによる福音書を学んでおります。イエス様の御足跡を辿りつつお話しします。気仙先生のお言葉に、毎回を開かれ、新しく豊かなものを頂きます。皆御一緒に歌う讃美歌、お茶を戴きながら、気仙先生を中心に先輩後輩を越えた語らいと交わり。フェリスに学んだ喜びを実感する一時です。どうぞ御一緒に一度お出かけください。お待ちしております。

お 話 気仙三二先生
日 時 第二木曜日 十時半～十二時
12月は第三木曜日 クリスマス会

場 所 中高同窓会室
お問い合わせ 杉浦 昌子 (S26)

書道サークルへの おさそい

26年の歴史を持つ当サークルは、毎月一回山手の丘に集まり、堀 愛泉先生の草書、仮名・ペン習字の御指導をうけています。それぞれの程度に応じた御指導でいつの日か美しい字が書ける初心者の方でも気軽に入会出来ます。

日 時 每月第四木曜午後一時～四時
場 所 大学(山手)六号館別館二階
連絡先 望月幸子(56E)

デイジーグリークラブ

フェリスの卒業生の女声合唱団。中高の卒業生が中心ですが短大・大学の卒業生も多数参加。現在40名。

指導指揮は田中順先生。ピアノは土井美乃里さん。

月に二回水曜日の1時半～3時白菊会の同窓会室で練習。会費は月4000円。プラス、月に一回、アカペラでルネサンス曲を約半数の方が勉強中。声は若々しいけれど、平均年齢が高く、50歳以下は一人。

12月6日(土)2時から、フェリスホールで第10回演奏会。曲目は中田喜直、メンデルスゾーンなど。入場無料。是非、聴きにいらして下さい。

連絡先 鈴木道子 (S41)

英語読書会

山永百合子先生のご指導を戴き、月一回、ユーモアあふれる丁寧な英語のレッスン、楽しく学び続けております。山手の美しい四季を感じ乍ら、又階下から中高生の音楽が心地よくひびき、チャイムが鳴つたりと学生気分にひたっています。卒業しても学びの機会が与えられ、心より本当に感謝致します。今、左記の本を読んでおります。

TO DANCE WITH THE WHITE DOG - TERRY-KAY 「白い犬とワルツを」

日 時 第四水曜日 黒栄子(62E)記
場 所 中高同窓会室
連絡先 野口昭子(58E)

永眠者(お届けのあつた方)

黒沢淳雄事務局長(母堂)

りべるて

100111

足立由美子姉(D45)

10011

高柴 節子姉(D47)

100011

岡崎 悅代姉(D39)

100162

勝治 明子姉(D46)

100111

岸田 美保子姉(D45)

1001830

井出 祥子姉(D49)

100199

三原千佐子姉(D44)

1001118

今井 郁乃姉(D41)

10011111

植野 麻起子姉(76E)

10011611

河野 紅 姉(80E)

100196

吉岡尚子姉(15回)

100342

寺西春雄先生

1003622

大川美子姉(16回)

100196

原田 茜江姉(68E)

1001199

椋本 公子姉(71)

10011225

鈴木加津子姉(59E)

100133

原田 茜江姉(68E)

1001199

河野 紅 姉(80E)

100196

吉岡尚子姉(15回)

100342

寺西春雄先生

1003622

大川美子姉(16回)

100196

吉岡尚子姉(15回)

100342

原田 茜江姉(68E)

1001199

椋本 公子姉(71)

10011225

鈴木加津子姉(59E)

100133

原田 茜江姉(68E)

1001199

椋本 公子姉(71)

10011225

鈴木加津子姉(59E)

100133

維持協力会

同窓生の皆様お元気でご活躍のことと思います。

日頃より、学院の募金に対し、ご支援、ご協力をいただき感謝申しあげます。

ご支援をいただいております130周年記念事業募金はいよいよ来年2月をもちまして終了いたします。この事業はすべて完了し、同封いたしました「維持協力会のご案内」で一部報告させていただきます。

また、維持協力会では、会員証をお持ちの皆様に、より多くご利用いただけるよう特典範囲を追加いたしました。(案内をご覧下さい)。

引き続き、学院の将来、また後輩のためご支援をお願いいたします。

募金お問い合わせ先

Fエリス女学院
本部事務局総務課 捐金係
TEL ○四五一六六一一四五一
若葉の芽ぶく頃、はじめまして、とご挨拶を交した、りてら、Fグループ、りべるての会報担当者。まとめはりべるてと決まり、きれいで読みやすくモットーに打ち合わせを重ね、それぞれの特徴を生かしつつ完成しました。皆様いかがでしょか。
お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました皆様、本当にありがとうございました。

編集後記
TEL ○四五一六六一一四五一
若葉の芽ぶく頃、はじめまして、とご挨拶を交した、りてら、Fグループ、りべるての会報担当者。まとめはりべるてと決まり、きれいで読みやすくモットーに打ち合わせを重ね、それぞれの特徴を生かしつつ完成しました。皆様いかがでしょか。
お忙しい中、原稿をお寄せ下さいました皆様、本当にありがとうございました。

フェリス女学院大学同窓会会報

二〇〇三年八月発行
担当：家政科同窓会りべるて
横浜市中区山手町六八
電話 ○四五 (六六二) 〇七五〇

天來の慰めをお祈りいたします。